



低区配水池

耐震化率  
100%

# ここがすごい！ 水を守るインフラ整備

## 👍すごい！ 二つの水源で安定供給

自己水と企業団水の二つの水源があるため、災害や事故でどちらかが使えなくなっても、もう一方の水源を使うことができます。また、地下水は濁水や事故等の影響を受けにくいので、安定的で継続的な水の供給ができます。

地下水を主な水源として、2系統以上の水源を持つ自治体は、府内では2団体のみです。

## 👍すごい！ 施設の耐震化が進んでいます

浄水施設(星の里浄水場)の耐震化率100% (全国平均は38.0%。府内では22.6%で、100%は7団体のみ)

配水池(市内全5か所)の耐震化率100% (全国平均は60.8%。府内では49.0%で、100%は3団体のみ)

企業団水の受水管の更新・耐震化工事完了で耐震化率100%

## 👍すごい！ 配水池に1人1日3リットル分を貯水

星の里浄水場で作られた水道水は、一度、私市ポンプ場に戻され、そこから低区や高区などの市内5か所の配水池へ送られます。

配水池からは、自然流下方式で各家庭へ送られるため、万が一、配水池へ水の供給がストップする事態が発生しても、8時間は断水しません。1人1日3リットル相当の水が貯水されています。



星の里浄水場

耐震化率  
100%



私市ポンプ場

耐震化率  
100%



# おいしい水を守る日々の取り組み

星の里浄水場や低区配水池などへ大量の水を送り出すポンプ(表紙写真の後ろ側に写る設備)と操作盤は、数ある設備の中でも最も重要なもので、特に慎重な保守管理を行っています。



埋設されている水道管からの漏水が疑われるときは、漏水探知機を地面に当て、漏水箇所を探します。

ほとんどの水道管は地中に埋められていますが、川を渡る水道管(水管橋)のように露出しているものもあり、定期的な点検が欠かせません。見えにくい所も点検用鏡で確認しています。



水道管の状態を調べるため、点検する管に音聴棒の先を当て、異音がないか確認します。



水質検査は、安全な水道水の最後の砦です。写真では水道水に試薬を投入し、塩素濃度を調べ、消毒効果を確認しています。

普段何気なく使っている水道水が、いくつもの点検やチェックを経て家庭に送られていることがとてもよく分かりました。交野の水道水がおいしい理由は、きれいな地下水を安全に供給しようとする職員みなさんの日々の業務のおかげですね。